

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく「東京国際空港場周警備設備等保守業務請負」に係る落札者の決定について

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札を行った「東京国際空港場周警備設備等保守業務請負」については、下記のとおり落札者を決定しました。

1 落札者の名称

一般財団法人 航空保安協会

2 落札金額

250,991,136円

入札価格に当該価格の8%に相当する額を加算した金額

業務実施期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）3 年間分の額

3 落札者の評価点

標準点及び加算点の合計	入札価格（税抜）	評価値
116点	232,399,200円	49.9141

評価値については、標準点及び加算点の合計を入札価格（億単位換算）で除した値で、小数点第四位未満は切り捨て

入札価格（232,399,200円）は単価契約による予定項目と総価契約による確定項目の組み合わせによるものであり、予定項目の契約希望単価に予定数量を乗じた総価格と確定項目の金額を加え見積もった契約希望金額（消費税相当額を含む）の108分の100に相当する金額である。

➤ 予定項目

通常時間帯：3,095円（税抜）/1時間 × 3,000時間

深夜時間帯：3,714円（税抜）/1時間 × 300時間

➤ 確定項目：222,000,000円（税抜）

4 落札者決定の経緯及び理由

東京国際空港場周警備設備等保守業務請負における民間競争入札実施要項及び入札説明書に基づき、入札参加者1者から提出された競争参加資格確認申請書類及び技術提案書について、外部有識者を含む評価者により審査した結果、入札参加資格及び評価基準を満たしていた。

入札価格については、2月4日に開札した結果、予定価格の範囲内であったことから、総合評価を行い、上記の者が落札者となった。

## 5 落札者における当該公共サービスの実施体制及び実施方法の概要

落札者が行う業務は、空港制限区域の秩序の維持のため監視カメラや侵入警戒センサー等で構成する場周警備設備や、消火救難業務に使用する防災通信指令設備等が正常に動作するよう、必要な保守を行うものである。

これらの実施体制については、保守業務を確実に実施する為、指定する勤務時間について業務担当者を配置するほか、時間外においても、緊急的な保守が必要となる場合に対応出来る体制を確保するものとする。

実施方法については、保守の実施調整のほか、定期的な訓練により、保守作業の質の向上を図ることにより、警備設備等の確実な運用を確保するものとする。